

平成 31 年 2 月 13 日

各 位

東京都港区六本木六丁目 8 番 10 号
会社名 株式会社モブキャストホールディングス
代表者名 代表取締役社長 藪 考 樹
(コード番号：3664 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 管理本部長 佐 武 利 治
(TEL.03 - 5414 - 6830)

営業外費用、特別損失及び 通期業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 12 月期の決算において、営業外費用（為替差損（連結、個別））、特別損失（減損損失（連結）、出資金評価損（連結）、関係会社事業損失（個別））を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、平成 30 年 12 月期通期業績（以下、「当期実績」といいます。）と平成 29 年 12 月期通期業績において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について（連結、個別）

当社グループが保有する外貨建て債権債務の決済及び平成30年12月期末の為替レートで評価したこと等により、連結決算において為替差損26,786千円を、個別決算において為替差損30,720千円を計上いたしました。

2. 特別損失の計上について

1) 減損損失（連結）

当社グループのモバイルゲーム事業において、海外企業を含む提携先との共同開発を中心にゲーム開発を行うグローバルアライアンス戦略の徹底に伴い、自社運営タイトルの譲渡及び共同運営、並びに自社開発中のタイトルの開発を停止することとしました。これに伴いゲームに係るソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の投資回収見込みを改めて検討した結果、減損損失387,566千円を計上いたしました。

2) 出資金評価損（連結）

モバイルゲーム事業に係る出資金の投資回収見込みを改めて検討し、出資金評価損32,732千円を計上いたしました。

3) 関係会社事業損失（個別）

平成30年12月28日に開示した「連結子会社に対する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）及び特別損失（関係会社事業損失）計上に関するお知らせ」でお知らせした子会社株式のデット・エクイティ・スワップに伴う債権の帳簿価額の見直し及び上記記載の減損損失、出資金評価損等をふ

まえ関係会社株式の評価見直しを行った結果、関係会社事業損失として710,321千円を計上いたしました。

なお、関係会社事業損失につきましては、連結決算では相殺消去されております。

3. 当期実績と前期実績との差異

1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 3,302	百万円 ▲1,218	百万円 ▲1,242	百万円 ▲1,345	円 銭 ▲82.85
当期実績 (B)	7,245	▲536	▲630	▲1,221	▲69.83
増減額 (B - A)	3,943	682	611	123	13.02
増減率 (%)	119.4	—	—	—	—

2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 3,300	百万円 ▲1,213	百万円 ▲1,216	百万円 ▲1,353	円 銭 ▲83.35
当期実績 (B)	1,985	114	72	▲702	▲40.13
増減額 (B - A)	▲1,314	1,327	1,289	651	43.22
増減率 (%)	▲39.8	—	—	—	—

3) 差異の理由 (連結及び個別)

当社は、平成 30 年 4 月に持株会社体制へ移行し、モバイルゲーム事業について、新たに設立した子会社である株式会社モブキャストゲームス (以下、「モブキャストゲームス」) へ移管いたしました。また、同年 2 月に株式会社トムス (以下、「トムス」) の株式を取得、さらに同年 3 月には株式会社ソーシャルキャピタル総合研究所 (現 ソーシャルキャピタル株式会社) の株式を取得し、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

平成 30 年 12 月期の連結売上高につきましては、平成 30 年 2 月に配信を開始した「キングダム 乱 - 天下統一への道 -」等新作タイトルの売上高の発生、さらに平成 29 年 9 月に配信を開始した「モバサカ CHAMPIONS MANAGER」の売上高が通年寄与したことにより、モバイルゲーム事業に伴う売上高が増加するとともに、モータースポーツ事業のトムス売上高が加わったことにより、売上高は 7,245,582 千円 (前連結会計年度は売上高 3,302,332 千円) となりました。

一方で、連結営業利益につきましては、モバイルゲーム事業の売上拡大に伴い同事業の営業損失が縮小したことに加えて、モータースポーツ事業の営業利益が寄与し、営業損失は 536,079 千円 (前連結会計年度は営業損失 1,218,732 千円) となりました。

また、上記 1. で記載したとおり、営業外費用として為替差損 26,786 千円等を計上した結果、経常損失は 630,997 千円 (前連結会計年度は経常損失 1,242,048 千円)、また、上記 2. で記

載したとおり特別損失として減損損失 387,566 千円、出資金評価損 32,732 千円等を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は 1,221,767 千円（前連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純損失は 1,345,433 千円）となりました。

個別決算につきましては、上記持株会社体制への変更に伴い、それまで計上していたモバイルゲーム事業を子会社モブキャストゲームスへ移管したことにより、売上高は 1,985,916 千円（前事業年度は売上高 3,300,537 千円）、営業利益は 114,020 千円（前事業年度は営業損失 1,213,475 千円）となりました。

なお、営業外費用として上記 1. 記載の為替差損 30,720 千円等を計上したことにより経常利益は 72,950 千円（前事業年度は経常損失 1,216,191 千円）となりました。また、特別損失として上記 2. 記載の関係会社事業損失 710,321 千円等を計上した結果、当期純損失は 702,129 千円（前事業年度の当期純損失は 1,353,551 千円）となりました。なお、関係会社事業損失につきましては、連結決算では相殺消去されております。

以 上